

メッセージコラージュ

高知県立窪川高等学校
新開涼子

《学校紹介》高知県西部に位置する四万十町内にある高知県立窪川高等学校は、全校生徒125人の学校です。大半が四万十町内の生徒で、素朴な生徒の多い地域に密着した高校です。

《対象学年》3年

《所要時間》8時間

《題材のコンセプト》

題材を考えるきっかけとなったのは、生徒が新聞を読まないという話から何か新聞を用いた授業を考えられないだろうかと思ったのがきっかけです。新聞からコラージュの素材を切り抜き、それらの素材からメッセージを導き出し、そのメッセージを前面に押し出した構成で作品に仕上げる。その過程で、新聞の様々な記事を読んだり、普段自分があまり興味がないような情報にも目を通してくれたら、という思いで課題を設定しました。



《準備物》

- ・課題資料
- ・新聞（雑誌）
- ・ハサミ
- ・のり
- ・八つ切画用紙
- ・色画用紙（色紙）

《手順》

過去生徒作品を例に示しつつ課題について説明。

新聞を読みながら、気になった写真や文字をたくさん切り取る。

たくさんの素材の中からひとつのテーマを導き出し、素材の取捨選択をしながら八つ切画用紙の大きさに構成を考える。

(注)・画用紙の白い部分が見えないように構成する。

・見る人を不快にさせるテーマはNG。

メッセージを伝えるために足りない素材やどうしても見つからない文字などは自分で描いても良いとし、最終的なまとまりを重視してさらに構成を再考させてから、貼り付けさせる。



《コメント》

新聞だけではコラージュに色彩が足りなくなるので、雑誌やチラシ・ポスターなども選択肢に加えています。

この課題は、描くことに苦手意識を持つ生徒が、比較的積極的に取り組んでくれることもあり、課題としてよく取り上げています。

自分の思いをストレートに表現しやすく、普段何気なく思っている、それを表現する場の少ない生徒たちには、視覚と言語を使った自分のメッセージが目に見える形で作品になるので、楽しみながら取り組めるようです。今年度は東日本大震災の影響もあり、震災に関するテーマで前向きな作品が多くなったのも特徴的でした。

